


Kouryo 向陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077
<https://kouryo-high-school.com/> / メール kouryo@chibagakuen.ac.jp

球技大会

12月2日(金)、八戸市体育館にて冬季球技大会が行われた。当日は雪がちらつく寒い一日となったが、男子はバレーボール、女子はバスケットボールで熱い戦いを繰り広げた。女子決勝戦は、バスケットボール経験者の多い1年生同士の対決となった。どちらも譲らず最後まで勝敗が分らない展開となったが、勝負どころでシュートを決めきった1年2組が勝利した。男子も1年生が勝ち上がった。運動部経験者の多さもさることながら、チームワークの良さが光った1年1組が優勝した。競技開始時間は少し遅れたが、進行はスムーズで、最後は優勝チームと教員チームとの対決で盛り上がった。保護者の方々も生徒の雄姿に拍手を送ったり、撮影したりと観戦を楽しんでいる様子だった。また、PTAの皆さんからは、体育祭に続いて全校生徒、教職員に飲み物の差し入れをいただいた。

〈バレーボール〉

優勝	1年1組
準優勝	1年2組
第3位	2年1組
〈バスケットボール〉	
優勝	1年2組
準優勝	1年1組
第3位	3年2組



新生徒会役員任命式

12月1日(木)、新生徒会役員の任命式が行われた。校長先生より任命状が9名に手渡され、激励の言葉をいただいた。



万引き防止標語入賞

八戸警察署主催の万引き防止標語コンクールにおいて、鈴木優さん(3年・大館中学校出身)の作品が39校410点の中から優秀賞に選ばれた。12日(月)の表彰式に参加した鈴木さんは、「自分で考えた標語が入賞して嬉しかったです。表彰式では同級生と再会しました。私は標語部門、同級生はポスター部門での入賞となりました。今回入賞した方々の作品が地元八戸の防犯意識向上に繋がればと思います」と受賞の喜びと感想を語ってくれた。作品は万引き防止標語ポスターとして、管内各店舗に掲示される。



漢字検定合格者

- 準2級 茨島 一花(1年・大館中学校出身)
 奈良 明音(2年・東中学校出身)
 3級 坂田 香音(2年・三沢第二中学校出身)
 平田 玄明(2年・北稜中学校出身)
 山家 昌悟(2年・平塚市立土沢中学校出身)
 安部 秀麻(3年・大館中学校出身)
 杉本 紗良(3年・階上中学校出身)

先輩に学ぶ進路活動

12月5日(月) LHRにおいて、1年生が進路講話を行った。この日は主に、進路決定に至るまでの流れ、苦労したこと、アドバイスということ、3年生4人が、司会の成田先生と質問形式を取りながら経験談を話した。4年制大学への進学が決まっている福島空鳳君



夏休み読書感想文コンクール入賞者決定

- 最優秀賞 小笠原 智也(3年・市川中学校出身)
 優秀賞 前田 七海(2年・第三中学校出身)
 優秀賞 工藤 珠妃(2年・下長中学校出身)
 努力賞 杉本 紗良(3年・階上中学校出身)
 努力賞 高橋 蘭莉(3年・三沢第二中学校出身)
 努力賞 八木田 実咲(3年・北稜中学校出身)
 努力賞 伊藤 柊香(2年・根城中学校出身)
 努力賞 坂田 香音(2年・三沢第二中学校出身)
 努力賞 平田 玄明(2年・北稜中学校出身)
 努力賞 西村 栄太(2年・小中野中学校出身)
 努力賞 中村 松吾(2年・北稜中学校出身)
 努力賞 板橋 寿弥(1年・下長中学校出身)
 努力賞 大山 卓真(1年・藤沢市立秋葉台中学校出身)
 努力賞 櫻庭 琥珀(1年・第二中学校出身)
 努力賞 小柴 真優(1年・第三中学校出身)
 努力賞 板橋 宙(1年・長者中学校出身)
 努力賞 高際 真愛(1年・白銀南中学校出身)
 努力賞 甲斐 弥嵐(1年・さいたま市立三室中学校出身)
 努力賞 茨島 一花(1年・大館中学校出身)
 努力賞 吉岡 遥帆(1年・十和田市立平和田中学校出身)

【旅程】1日目:八戸→沖縄移動⇒2日目:美ら海水族館・ワルミ大橋・古宇利オーシャンタワー・国際通り散策⇒3日目:旧海軍司令壕・おきなわワールド・スーパーエイサー公演・平和祈念公園・ひめゆりの塔・守礼門⇒4日目:沖縄→大阪移動・USJ⇒5日目:大阪→八戸移動

2年生修学旅行

12月12日(月)～16日(金)まで4泊5日の日程で2年ぶりの修学旅行が実施された。生徒たちは、沖縄と大阪を見学し仲間と楽しい時間を共有した。また、2学期は人間学で「人間と平和」の授業、親子で聞く講演会「被爆ピアノに学ぶ命と平和について」の平和教育を通して「平和」や「戦争」について考えた2年生。日本で唯一の地上戦が行われた現地を訪れ当時の様子を肌で感じたこと、実際に自分の目で確かめられた「戦争の悲惨さ」は、生徒たちに「平和」を深く実感させてくれたに違いない。道中、帰後も体調を崩す生徒が出ず修学旅行は無事終了した。

《いざ沖縄へ》

徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身) 雪が降っている街から新幹線に乗って遠い旅へ出発しました。東京へ着くと、周りは巨大なビルやマンションばかりでした。そこからモノレールに乗り羽田空港まで移動しました。到着後に食堂を探しましたが、見つかりませんでした。平日なのに人が多くてさすが、都会は違うと感じました。モノレールは窓が大きくてよく周りを見渡すことができました。飛行機はスマホが使えないため、映画やバラエティ、アニメを見て癒されていましたが、最後は酔いました。初日は移動だけでしたがとても疲れました。《国際通り》 平田 玄明(北稜中学校出身) 沖縄は高いビルがほとんど建っていないイメージでしたが、那覇市は県庁所在地ということもあり都会的でした。初日の夕食は国際通りのお店でステーキを食べました。客の目の前の鉄板で調理している所を見せられたので、良い匂いが目の前でして目でも鼻でも舌でも楽しむことができました。二日目の夜には班の人と国際通りで自由に買い物をしました。夜の国際通りは朝見た時よりもキラキラと輝いて綺麗でした。お土産屋さんや食べ物の店が多く、他の修学旅行生や旅行客の人たちでにぎわっていました。《古宇利オーシャンタワー》

ノレールは窓が大きくてよく周りを見渡すことができました。飛行機はスマホが使えないため、映画やバラエティ、アニメを見て癒されていましたが、最後は酔いました。初日は移動だけでしたがとても疲れました。《国際通り》 平田 玄明(北稜中学校出身) 沖縄は高いビルがほとんど建っていないイメージでしたが、那覇市は県庁所在地ということもあり都会的でした。初日の夕食は国際通りのお店でステーキを食べました。客の目の前の鉄板で調理している所を見せられたので、良い匂いが目の前でして目でも鼻でも舌でも楽しむことができました。二日目の夜には班の人と国際通りで自由に買い物をしました。夜の国際通りは朝見た時よりもキラキラと輝いて綺麗でした。お土産屋さんや食べ物の店が多く、他の修学旅行生や旅行客の人たちでにぎわっていました。《古宇利オーシャンタワー》



野坂 琉偉(白山台中学校出身)

古宇利オーシャンタワーは、沖縄県の古宇利島にある観光名所です。タワーへは、駐車場から自動運転のカートに乗っていくことができます。カートから流れる自動アナウンスで、地名の由来や古宇利大橋の長さなどが聞かれます。緑豊かな庭園や、絶景の海を眺めながら登っていくので、あっという間にタワーまで行くことができました。施設内の1、2、3階は展望フロアとなっており、2、3階は一面ガラス張りになっていて、双眼鏡が設置されています。また、4階はオーシャンデッキとなっており、開放感のある景色が楽しめます。デッキからの眺めはとて良



く、体に吹き付けてくる風が気持ちよかったです。《沖縄文化の見学》 水田 幸真(市川中学校出身) おきなわワールドで見たエイサーの迫力に驚きました。太鼓の上げ方や大太鼓の大きさに圧倒され、太鼓の響き、パチパチと倒され、格好良かったです。今回見た動きを太鼓部の活動にも活かしていきたいです。

おきなわワールドで見たエイサーの迫力に驚きました。太鼓の上げ方や大太鼓の大きさに圧倒され、太鼓の響き、パチパチと倒され、格好良かったです。今回見た動きを太鼓部の活動にも活かしていきたいです。



《平和祈念公園》 佐々木 俐玖(名川中学校出身) 私たちは3日目に平和祈念公園を見学しました。印象に残ったことの1つ目は入口の近くにある戦時中に暮らしていたとされる場所です。奥の方が洞窟だったと思われる感じの場所、数百個の鶴がいくつか飾られていました。私がこの場所を感じたことは、とにかく狭いということです。あの狭い中に何百人もの人が生活するのは地獄だったことでしょう。私には考えられない程の苦痛があったのだと知ることができました。二つ目は、平和の礎と平和の広場です。平和の広場からは、断崖絶壁からの海岸線が4キロメートル程見えるそうです。戦時中に追い込まれた一般人々が次々とこの崖から飛び降り、血の海と化していったそうです。狂気の沙汰ではありません。そして、私は平和祈念公園の一番の見所は「平和の礎」だと思っています。平和の礎は沖縄戦で亡くなった日本人の名前が記されています。沖縄県以外の戦没者の名前もありました。さらに外国の方の名前まですべて記載されていました。私はこの石碑を見て、様々なところがありました。私には外国、日本関係なく全ての人の名前を書いたことが、特に印象深かったです。平和とはこういう隔たりがなくなるものなのだろうと思いました。それは、この平和祈念というものの第一歩だと私は思っています。



《守礼門》 坂 勇太郎(三条中学校出身) 沖縄には多くの歴史的建造物が現存し、それらは今を生きる私たちに、建物を維持し活用することの大切さ、文化や歴史について教えてくれます。沖縄にある歴史的建造物の一つ、首里城と守礼門は、日本の城とは違い、中国の城のような見た目をしていると思えます。これは琉球王国が中国と関係があり、そのことが城の形状に影響したからではないかと言われています。私はこれを知り、小さな島国でも外国の人々と積極的に交流し、文化や技術を取り入れていくことにより、日本本土とは異なる文化が形成されていったと考えました。また、首里城は五度に渡り焼失していますが、すべて復元作業が行われています。それは首里城が沖縄の人々にとって宝物であり、命でもあるからだと考えます。復元できた際にはぜひ見に行きたいです。今回の首里城と守礼門の見学を通じて、身近にある地元の無島や櫛引八幡宮のような今ある歴史的建造物を私たちは大切にしていかなければならないと思いました。

《ひめゆりの塔》 中村 真陽(三沢第一中学校出身) 私は、事前学習でひめゆりの塔について調べているうちに、行きたくないと思っていました。なぜなら調べている時に、どういふ事が起きたのかを知り、最後まで見学できるか心配だったからです。沖縄の戦争については、人間学の授業などでどれだけ凄惨な出来事だったかを学んで行きました。そして実際にひめゆりの塔を訪れた時、本当にこの場所で悲しい事が起きたのだと思い、物凄く怖くなりました。塔の中には、その当時に書いてあった手紙や亡くなった方の遺品などが展示されていました。その中でも、なかなか目を向けることができなかったのは亡くなった方の写真とどういふ亡くなり方をしたかを書いてある物でした。恐る恐る見た写真の方の年齢は私たちと同じくらいか、と下の方たちでした。自分が今の年齢で死ぬのは正直想像ができません。まだやりたい事や夢があったのではないかと考えると本当に胸が痛みます。平和について改めて考えさせられました。もう二度とこんな事が起きない様にするにはいつまでも戦争は駄目だと声を上げ続けることが大切だと思いました。



《USJ》 庭瀬 陽希(種市中学校出身) 初めてユニバーサルスタジオジャパンに行きました。中はとて広くて迷子になりました。私たちが乗ったアトラクション体験と昼食がセットのエクスパレスパスを購入しました。パスはQRコードで表示する物だったのでなくしたり、風で飛ばしてしまいう心配もありません。最初は、ハリウッド・ドリーム・ザ・ライドというアトラクションに乗りました。愉快なBGMと同時に発車し、私たちが乗った全乗員が絶叫し、日頃のストレスが吹き飛びました。皆で食べた昼食はとても美味しかったです。



《帰八》 川村 一瑛(五戸中学校出身) 新幹線で友だちと美味しい駅弁を食べ、修学旅行の思い出についてたくさん話しました。どれも思い出深いですが、宿泊先で友だちとずっと語り合ったことが、自分にとって忘れられない思い出となりました。本日に修学旅行に行くことができて良かったと思いました。

《帰八》 川村 一瑛(五戸中学校出身) 新幹線で友だちと美味しい駅弁を食べ、修学旅行の思い出についてたくさん話しました。どれも思い出深いですが、宿泊先で友だちとずっと語り合ったことが、自分にとって忘れられない思い出となりました。本日に修学旅行に行くことができて良かったと思いました。